

はじめに

本書は、県内の漁業者や漁業関係者、そして広く高知県の水産業に興味を持つ一般の方々を対象としています。執筆にあたっては、日々の業務を通じて皆様から受ける問い合わせにできるだけ答えるような内容を目指しました。その結果、これまでに掲載してきた「主要魚種の卵と仔稚魚の分布」は割愛し、魚種ごとの資源生態についてはより充実させ、底魚類やえび・かに類の情報を大幅に増やしました。また、各章の文章は、執筆者の考えを伝えやすいよう各自のスタイルを尊重しました。そのため、項目によって形式が若干異なります。

本書で紹介している知見の多くは、きわめて地道な調査によって得られたものです。例えば、土佐湾の海洋環境に関する知見は、水産試験場の調査船土佐海洋丸による現場での海洋観測が基礎となります。魚介類の生態は、漁獲統計を収集し、市場へ出かけていっては魚の大きさを測る、といったさまざまな調査で得られたデータを基本としています。土佐湾の海水温が上昇傾向にあることや（本書10ページ）、マイワシが減った時に土佐湾が主要な産卵場として最後まで残る聖域であること（本書30ページ）は、10年、20年、30年という長い時間をかけて、水温や漁獲量、卵の数といった基礎データを現場で収集してきたからこそ言えることであり、他の方法で代替することはできません。

今後もこのような調査を続け、基礎データの解析から本県の水産業振興に貢献していくことが、水産試験場にとってもっとも重要な使命であると考えています。

執筆者一同

明神寿彦（高知県水産試験場 技術次長）

田ノ本明彦（高知県水産試験場 漁業資源課長）

大河俊之（高知県水産試験場 漁業資源課主任研究員）

梶 達也（高知県水産試験場 漁業資源課主任研究員）

目 次

はじめに	i
目次	ii
I 高知県沖合域の海況	1
1. 北太平洋の海流	1
2. 黒潮	2
II 高知県沿岸域の海況	7
1. 水温	8
2. 土佐湾表面水温の長期変動	10
3. 塩分	11
4. 透明度	12
5. 流れ	12
6. 黒潮分枝流の豊後水道への流入様式	15
資料II-1 土佐黒潮牧場ブイ及び沿岸定地水温の旬別データ	16
III 主要魚種の資源生態	17
1. かつお・まぐろ類	
カツオ	17
クロマグロ	21
その他のまぐろ類	24
マルソウダ	28
2. 定置網・まき網・船びき網で漁獲される魚種	
マイワシ	30
カタクチイワシ	32
ウルメイワシ	34
シラス	36
キビナゴ	38
マアジ	40
ゴマサバ	42
マサバ	44
ブリ	46
シイラ	48
スルメイカ	50

3. 延縄や釣で漁獲される魚種	
キンメダイ	51
ハガツオ	56
あまだい類	58
イサキ	60
4. 底びき網や刺網で漁獲される魚介類	
ニギス	62
アオメエソ	64
ハモ	66
ヒラメ	68
くるまえび類	70
こえび類	72
のこぎりがざみ類	74
その他かに類	75
5. その他の漁法で漁獲される魚介類	
アサリ	76
資料Ⅲ－1 高知県で水揚げされるその他魚種の漁獲時期	78
資料Ⅲ－2 主要魚種別漁獲量の経年変化	91
IV 用語集	93
V 参考文献	96
おわりに	104